

2024年度 慶應義塾大学 一般選抜

総合政策学部 小論文 問題解説と出題意図

本問題は、前半では日本、米国、中国などの世界の主要国の経済ダイナミズムと技術力の変化を捉えつつ、その一方で、環境・社会などのサステナブルな世界経済・企業経営の構築を目指す新たな動きもみられつつあり、そうした世界の変化を受験生がどの程度理解し、未来を展望しているのかを探ることを目的としている。

また後半では、日本に関する具体的な政策について目的、対象、手法を理解したうえで、副作用などにも配慮しつつ、深く説得力のある論理展開をしてもらうことを目的としている。

第1問は、日本経済に焦点を当てつつ、米国や中国との相対的な立ち位置について10年後の予測を問う問題となっている。日本だけでなく、米国や中国を含むアジアについての国際的な理解を問う問題でもある。5つの資料のうち4つの資料を選択し、これら主題を読みこなし、米国と中国との相対的な関係を展望しつつ、10年後の日本の姿について自分の考えを説明できているかが問われる。

第2問は、日本経済の活性化に必要なイノベーションを生み出すための政策について問う問題である。具体的な3つの政策を挙げ、その内の1つの政策について目的、対象、手法について明記され、政策の有用性や考え得る弊害等について論理的に記述されているかが問われる。